

市役所前さくら通り地区景観協議会 ニュースレター

第 2 号

平成 31 年 2 月 25 日発行

さくら通りを歩いて、地区の景観の魅力と課題を把握しました

相模原市では、市民・事業者の皆さんと共に、さまざまな景観資源を「まもる」、「いかす・そだてる」、「つくる」ことによる、魅力ある景観づくりを進めています。

その一環として、中央区内でも特に親しみのある「市役所前さくら通り地区」の魅力をもっと高めるため、景観形成重点地区の指定に向けて取り組んでいます。

自治会や商店街、地域にお住まいの方などで構成される「市役所前さくら通り地区景観協議会」でご意見を伺いながら進めており、平成 31 年 1 月 27 日（日）に第 2 回景観協議会を開催しました。



市役所前さくら通り地区
横山二丁目交差点～JR横浜線の沿道（---）

第 2 回景観協議会の概要

第 2 回景観協議会では、講義、まち歩き、グループワークを通して、市役所前さくら通り地区の魅力と課題について考えました。

（1）講義

講師として阿部貴弘先生（日本大学理工学部まちづくり工学科・教授）をお招きし、『景観形成重点地区指定に向けて～なぜ、景観に配慮するのか？～』と題して、ご講義いただきました。



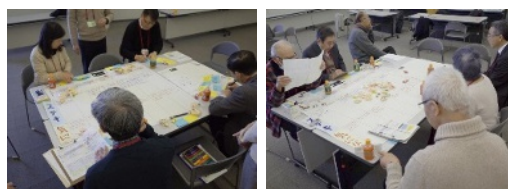
（2）まち歩き

市役所前さくら通りを歩き、第 1 回景観協議会で意見を出し合った「素敵だと思う場所」や「気になるところ」を実際に確認するとともに、ところどころで立ち止まって阿部先生に解説していただきながら、地区の景観の魅力と課題を把握しました。



（3）グループワーク

会場に戻ってから、2 グループに分かれて、講義やまち歩きを通して、気づいたことや感じたことについて意見を出し合い、共有しました。



第2回景観協議会の内容

(1) 講義

阿部先生から、景観づくりを考える上でのポイントを教えていただきました。

なぜ、景観を整備するのか

日本の公共空間の現状は、良好とはいえない状態です。これは「造れば喜ばれた」時代や「手段の目的化」が背景にあります。しかし、景観整備によって質の高い公共空間を創出することで、生活の質を上げたり、生き生きとしたまちを創ったりすることができます。

景観づくりは、まちを健康にする取り組みのひとつと言えます。

質の高い公共空間とはどのような空間か

見た目も重要な要素ですが、それだけが公共空間の質の高さを示しているわけではありません。その空間が使われているか/使いこなされているかという視点も重要です。

景観づくりのために何ができるのか

景観づくりの特効薬や万能薬はなく、地域ごとに考えていかなければなりません。地域住民、専門家、行政が目的意識を共有し、継続的に話し合いながら、そこで営まれる活動を意識した空間づくりに取り組むことが不可欠です。

(2) まち歩き

西門から横山2丁目交差点までの区間【下記「まち歩きのルート」参照】を歩きました。会場のウェルネスさがみほらを起点として、約3kmの道のりを70分程度かけて、じっくり歩きました。大きな交差点では横断歩道を渡りながら、通りの眺めを確認しました。

まち歩きの途中では、適宜立ち止まり、第1回景観協議会で挙げた「素敵だと思う場所」や「気になるところ」を確認し、阿部先生からは景観づくりのポイントを解説していただきました。まち歩きで確認した内容の一部をご紹介します。

公共空間の使われ方

通りにあるベンチのうち、座りたくなるようなベンチの前には、植栽などの緩衝帯があるものや、見える景色の良いものでした。公共空間を使いたくなるような工夫が、景観づくりのポイントのひとつになりそうです。

駐車場などのフェンス

沿道には多くの駐車場がありますが、植栽や落ち着いた色のフェンスを使っているところ、フェンスが破れたまま放置されているところ、何も立っていないところなど様子はさまざま。

フェンスが変わるだけでも、景観が変わってくるのがわかりました。

沿道のお店の構え方

沿道には、売っている商品が通りに向けて陳列されていたり、中でやっているマルシェの様子が通りから見えたりするなど、通りに向けて素敵な演出をしているお店がありました。

記念碑などの意味合い

相模原署前交差点にある「愛樹之碑」の由緒を、構成員の方が調べて解説してくださいました。通りに置かれている様々なものも、その意味合いを発掘して活用できるかもしれません。

建物の壁面や屋外広告物の色

沿道にはさまざまな色をした建物や看板がありました。

(3) グループワーク

第1回景観協議会で「素敵だと思う場所」や「気になるところ」として挙げたものや、今回の講義やまち歩きを通して気づいたことについて、「どのようにしたらもっと素敵になるか」、「どのように改善するといいいか」という視点で意見を出し合いました。

意見(抜粋)

樹木を整備したい
(さくら、けやき、足元の植栽)

おしゃれなお店が
並ぶ街並みにしたい

通りにあるモニュメントは、お金を集めて修理したり足元を整備したりして活用したい

各グループの意見を集めた結果



第3回景観協議会では、今回出し合った意見をもとに議論を深め、市役所前さくら通り地区の景観づくりの将来像を考えていきます。

まち歩きのルート



西門商店街のお店



グリーンプラザさがみほら



「愛樹之碑」の由緒を学習



沿道に増えているマンション



建物の壁の色を確認



駐車場のフェンスを確認



人が座っているベンチ

景観形成重点地区指定に向けたスケジュール（予定）

| | | |
|----------------------|--------------|------------------|
| 平成 30 年 | 11月 2日 4日 | 地域の皆様に向けた説明会（終了） |
| 平成 31 年 | 12月 16日 | 第 1 回（終了） |
| | 1月 27日 | 第 2 回（終了） |
| | 3月 10日 | 第 3 回 次回 |
| | 5月 | 第 4 回 |
| | 7月 | 第 5 回 |
| | 9月 | 第 6 回 |
| | 12月 | 第 7 回 |
| （景観審議会・都市計画審議会等の手続き） | | |
| 平成 32 年 | 10月 | パブリックコメント |
| 平成 33 年 | 1月 | 景観形成重点地区の指定 |

これまでのグループワーク、まち歩き、講義を踏まえ、市役所前さくら通り地区の景観の将来像を検討します。

景観協議会では、勉強会やまち歩き等を通して、次のことについて考えるとともに、ご意見を伺います。

- ・地区の景観資源や課題
- ・地区の目指す景観
- ・景観形成基準
（良好な景観を形成するためのルール）



普段と違う角度から、さくら通りを見てみませんか？



こちらの写真は、2月中旬に、市役所本庁舎の展望室から見たさくら通りです。展望室は、開庁時間の平日午前8時30分から午後5時まで開放しています。

景観協議会に関するお知らせやニュースレターは市ホームページでもご覧になれます。



<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/sumai/keikan/1015215.html>

景観協議会に関することやニュースレターの内容など、ご意見・ご感想等がございましたら、下記問い合わせ先まで

問い合わせ先 相模原市 都市建設局 まちづくり計画部 建築・住まい政策課（住まい・景観班）

住所 〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15 市役所第1別館4階

電話 042-769-9252 **ファクス** 042-757-6859

Eメール kenchikusumai@city.sagamihara.kanagawa.jp